



まつかぜ

松之木小だより 児童数：372名



八潮市立松之木小学校

児童一人一人のよさを大切に



校長 須賀 裕之

「まんが『ドラえもん』の声で知られる私は、生まれつき、男の子か女の子かわからないような『どら声』だったらしい。」こんな書き出しで始まる声優の大山のぶ代さんの生き方が、一昔前の道徳の副読本に載っていました。「ドラえもん」は外国でも沢山のファンがいる人気者です。私自身は「ドラえもん」と言えば、初代「ドラえもん」の声を担当していた大山のぶ代さんの声をすぐに連想してしまいます。今の子供達は水田わさびさんの声に親しみを感じているのでしょう。

大山さんはのびのびと幼少時代を過ごしたようですが、中学、高校へと進むにつれてその声がコンプレックスとなり、やがて人前で話すことができなくなります。しかし、周りの人達の温かい支えと思いやり、そして演劇部に入り、また本人の努力によって個性豊かな『どら声』が花開きました。

さて、教育では「個性重視」とよく言われています。小学校段階では、個性を伸ばすために、その子のよさや持ち味（読書好きの子、運動が得意な子、掃除を頑張れる子、友達に親切な子）を生かし、興味・関心を高めていくことが肝要です。このことを学習で考えてみますと、教師が一方向的に教えるのではなく、子供達が互いに学び合う中で、子供達一人一人が持てる力を十分に発揮できることが望ましい姿です。

本校では、今年度、「児童の学ぶ意欲を引き出す授業づくり」に焦点を当て、算数科を中心に研究を進めます。様々な手立てを講じ、学ぶ意欲を高め、「自ら学習する子」を目指していきます。

大山さんは、最後に、「子供の頃は誰だって、自分は人より劣っているのではないかという引け目や弱みを感じる。私はそういう子供達に心から『負けるな！がんばれ！』と応援したい。」と語っています。

児童一人一人のよさを大切にするには、個性や多様性を尊重し、自己肯定感を育む環境づくりが大切です。もしも、引け目や弱みを感じている子がいるならば、松之木小の私達が、「負けるな！がんばれ！」と子供達に声をかけていきます。チーム松之木として、子供達全員を精一杯応援します。

○今年度もさわやか相談室が設置されています。毎週月曜日と水曜日にさわやか相談員の先生が来校し、さわやか相談室が開かれています。学校生活の不安やお子様の様子で気になることがございましたら、ぜひご相談ください。申し込みについては、担任に知らせるか、直接学校にお電話ください。

